

令和元年度
学校関係者評価結果報告書

令和2年2月12日

学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校

学校関係者評価委員会報告書

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校は、令和2年2月12日に「令和元年度 学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和2年2月12日作成
学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員出席者 定員6名

- (1) 榎本 耕（社会福祉法人桐仁会 かしわ園施設長）
- (2) 小磯 英次（社会福祉法人たけのうち福祉会理事長）
- (3) 榊原 直哉（社会福祉法人福愛会 藤井保育園園長）
- (4) 柁屋 富治郎（町田市接骨師会会長）
- (5) 松坂 健志（社会福祉法人東の会みたけ施設長）

学内出席者5名

- (1) 瀧 将仁（校長）
- (2) 山根 満（教務課課長）
- (3) 蒔田 あゆみ（教務課課長代理）
- (4) 林 希美（教務課）

3. 会議の概要

(1) 校長挨拶

開会挨拶の後、職業実践専門課程及び学校関係者評価委員会についての概要、趣旨説明。

(2) 出席委員紹介

(3) 学内出席者紹介

(4) 本校概要説明

本校の沿革、学科、生徒数、就職状況等について説明。

(5) 令和元年度自己評価結果について

自己点検・自己評価報告書をもとに、項目ごとの自己評価、課題、改善策について説明をした後、出席委員との意見交換、質疑応答が行われた。

4. 学校関係者評価結果

大項目	学校関係者評価
基準1 教育理念 目的・育成人材像	評価：適切である。 課題：学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等が更なる周知が課題である。 改善策：学生・保護者等に配布物、インターネット等による周知の機会を設けていく。
基準2 学校運営	評価：適切である。 課題：教務システムの活用が不十分であるため、業務の効率化が課題である。 改善策：教務システムの活用を通じ業務の効率化を推進していく。
基準3 教育活動	評価：適切である。 課題：教員の指導力向上のため、研修の内容・回数の見直しが必要。 改善策：教員の研修では、特に専門領域の知識・技術の習得について、強化していく。
基準4 学修成果	評価：適切である。 課題：卒業生の実態把握については課題がある。同窓会だけに頼らず、卒業生との関係構築について、新たな施策が必要である。 改善策：卒業生はキャリア支援課で卒業生の実態把握に努めているが、学科によって差があるため、卒業後の評価のあり方の仕組みを検討していく。
基準5 学生支援	評価：適切である。 課題：令和元年度の退学者数は前年に比べて低減しておらず、退学者を低減させるためにさらなる強化策が必要である。 改善策：退学理由の分析を行い、学校の教育活動の改善を行うとともに、クラス担任やスクールカウンセラーにおける個々の学生の指導体制を強化していく。
基準6 教育環境	評価：適切である。 課題：防災計画の見直しを図り、防災マニュアル・避難訓練の実施計画の修正をおこなう必要がある。 改善策：避難訓練方法を見直し、実施内容・回数等を再検討する。
基準7 学生募集と 受け入れ	評価：適切である。 課題：入学選考結果を入学後の学力判断資料とし、学生指導に反映しているが、基礎学力の低い学生への指導に十分に結びつけられていない。 改善策：基礎学力の低い学生への指導を入学前から実施するなど、

	<p>新たな施策を検討していく。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：財務基盤の安定化には、安定した入学者を確保し、かつ、退学者の抑制を図ることが課題である。</p> <p>改善策：中長期的には財政基盤は安定しているが、経費削減のために予算配分の見直しをおこなう。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：教育情報の公開は一定の水準で実施できているが、第三者評価制度の導入など外部の意見を取り入れる点に課題がある。</p> <p>改善策：学校のHPにおいて教育情報の公開を進めているが、学外の認知度が低く、広報活動を強化していく。</p>
<p>基準10 社会貢献</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：限られた修業年限の中でボランティア参加と学業の両立が難しく、地域からの期待に応えきれていない。</p> <p>改善策：学校全体のボランティア参加の仕組みを検討する必要がある。</p>

3. 令和元年度 学校関係者評価（平成30年度の自己評価についての評価）

項目	評価
(1) 教育理念・目標 「理念・目的・育成人材像は定められているか」	適切である。
(2) 学校運営 「目的等に沿った運営方針が策定されているか」	適切である。
(3) 教育活動 「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」	適切である。
(4) 学習成果 「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」	適切である。
(5) 学生支援 「学生相談に関する支援体制は整備されているか」	適切である。
(6) 教育環境 「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか」	適切である。
(7) 学生の受け入れ募集 「学生募集活動は適正に行われているか」	適切である。
(8) 財務 「財務について会計監査が適正に行われているか」	適切である。
(9) 法令等の遵守 「法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」	適切である。
(10) 社会貢献・地域貢献 「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」	適切である。

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
自己評価結果についての 全体的な評価・意見等	昨年と比べて改善への取り組みが見られる。ただし、退学者数の低減など、小項目において不適切であった項目に対しては、改善に努めていただきたい。また、各業界のニーズに沿った人材育成のため、教育課程編成委員会等でしっかり議論をしていただき、教育に反映していただきたい。